

B型肝炎潜在性感染の患者様の情報の研究利用について

この度、三重県立総合医療センター消化器内科では、「B型肝炎再活性化ガイドラインの順守率や再活性化に関する後方視的研究」を実施することになりました。

この研究の目的は、免疫抑制療法や抗がん剤などの治療時にB型肝炎の検査を受けた患者様の臨床経過などを調べることです。

この研究のため、平成10年1月から現在までに、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは免疫抑制療法や抗がん剤などの治療時にB型肝炎の検査を受けた患者様で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（臨床情報、検査値、合併症の有無、臨床経過等）のみです。患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査した情報は本研究責任者の下で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

この研究に必要な資金は、病院が準備します。研究を実施するにあたり、研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供はありません。

また、ご自身の情報を研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関する資料をご覧になりたい場合、またはご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

平成29年5月

三重県立総合医療センター消化器内科
研究責任者：白木克哉
連絡先：059-345-2321